

# うた ひつじの詩だより

2006. 9. 1  
毎月発行 No.66  
この便りはお注文の品と  
いっしょにお届けします

8月の後半、毎日せつせと家の近くを歩きました。健康維持のためと、できればちょっと夏痩せしたかったためです。どこを歩いてもむせ返るような草いさけの中、桜並木にさしかかると突然桜の香りにつつまれて、夏の桜がこんなにも高い芳香を放っていることが、通るたびに新鮮な驚きでした。蝉の声もお天気によって、また季節が少しずつ進んでいくにつれて毎日違っていました。道端の草むらに逃げ込んでいくカナヘビや青い尻尾の若いトカゲ。自分の足で歩いてみると本当に多くの気づきがあり、心が動きまわります。時間を節約するつもりで車ばかり使っていると、たくさんの方を見落として、心が動くきっかけに出会えずに損をしまっているなあと反省しました。

長期予報によれば、今年の秋は晴天の多い秋になるそうです。ぶどう、梨、おいしい果物がたくさん出回り始めています。実りの秋。私たち自身もそれぞれに、たくさんの実りを手にしたいですね。

## 素朴さが人気です！ガーゼ人形



ゆりちゃんとかなちゃんのガーゼ人形

数年前、通信講座「ペレの学校」の教材としてこのキットを手にした時、我が家の子どもたちは小学校の高学年でした。是非、子どもたちにこの人形を作らせたいという私の願いをよそに、子どもたちは毎日遊びまわるとに忙しく、“初めての人形作り”に関心を示してはくれませんでした。どこかへ行ってしまおうとするのを捉まえては、「ちょっとここを縫って。」と頼んでやってもらいましたが、結局仕上がらず、私としては心残りでした。けれども先日、未完成のままの人形を取り出してしみじみ眺めてみると、糸の引きが甘かったり、針目が不ぞろいだったりする息子たちの手の跡がなんだかかわいくて、人の手の跡の残るものはやっぱりいいなあ、その時その時にしか残せない、かけがえのないものなのだと、改めて思いました。

同じく講師の宮崎智子さんのお宅では、二人の女の子のうち当時まだ5才だった妹のかなちゃんが、お姉ちゃんよりもずっとずっと夢中になって作ったそうです。そばで見ていて、子どもにも作りやすい工夫が随所にされていて感心したとのこと。今でも二人のガーゼ人形はお人形遊びの時は必ず仲間に入っているそうです。自分で作った初めての人形。きっと愛着もひとしおでしょうね。

ガーゼの粗い目に針がスッと気持ちよく通って、小さい人でも苦勞せず縫うことができます。小さい人たちだけでなく、年配の方たちにも「昔こういうお人形があったのよねえ。」と人気です。洋服の生地と作り方もキットに入っているため、一気に仕上がります。素朴なガーゼ人形をお子さんと一緒に、または、ご自身のために、作ってみませんか。

(はじめてのガーゼ人形 身長約25cm キット 2,300円)



## ぱたぼんの仕事展 ウォルドルフ人形 ～遊びの風景～

### スウェーデンひつじの詩舎講師「ぱたぼん」の作品展

9月9日～19日 ウォルナットグローブ 愛媛県今治市北島生町 2-4-28

TEL:0898-33-1005 担当 橋本美如

9月22日～28日 木っと音工房 愛媛県松山市三番町 7-4-7

TEL:089-934-7652 担当 橋本美如

9月13日～24日 百町森 静岡県葵区鷹匠 1-14-12 TEL:054-251-8700 榛地裕子

10月3日～10日 ウーフ 香川県丸亀市土器町西 588 TEL:0877-24-4667 山地洋子

10月5日～23日 ギャラリー芬 東京都小平市花小金井みなみ町 1-15-5

TEL:0424-62-1364 担当 笹岡かおり

10月20日～11月3日 ふるさと交流館 三重県多気郡多気町

TEL:0598-49-4500 担当 加藤ますみ

この後も、12月に横浜市で予定されている他、全国各地で企画中です。お近くの会場へ、是非お運びください！

## その他の作品展

ウォルドルフのフェルト展 9月2日(土)～3日(日) ぱふあべの店

TEL:06-6634-8140 担当 中野久仁子

ウールドッカ展 9月27日(水)～10月15日(日) 百町森

TEL:054-251-8700 担当 榛地裕子

## 相談窓口から

寺田裕子

いつも相談窓口をご利用いただきありがとうございます。皆様からいろいろなご質問をいただくのですが、特に多いのは羊毛についての質問です。

「アトリエノートV」の6ページには「羊毛の配分と大きさの目安」の表があります。この表のメジャーで測った大きさとグラム数が合わないの、どちらを優先したら良いのでしょうか？という質問がよくあります。その時はメジャーで測ったほうを優先して、グラム数は参考にしてくださいとお話しています。

人形の柔らかさについての質問もあります。出来上がった人形で遊ぶお子さんが、人形を抱っこした時、どんな柔らかさが良いだろうか、と考えて作られるといいと思います。

胴は、マフ、おなかのボール、それを巻く羊毛とで出来ていますが、マフとボールの硬さが違っていると、胴を触った時に違和感があります。胴を触った時に、自然な感じで一体感があるように、マフとボールの硬さに注意して作ってください。おなかのボールが硬すぎるのは不自然なので、少し柔らかめで良いと思います。

キットに入っている羊毛が余る場合がありますが、それでも構いません。でも、もし足りない時は、ボールなどが硬すぎるかもしれません。そんな時はグラム数が参考になります。もし、前に作った人形が硬過ぎたと思われた方は次回、ここに書いたことを参考にしながら作っていただきたいと思います。

分からないことがありましたら、何でもご相談ください。一緒に考えさせていただきます。(相談窓口：TEL&FAX 045-881-7035)

編集担当：佐藤治子

スウェーデンひつじの詩舎のホームページ

検索キーワードは「s-hitsuji」と「詩舎」

<http://www.s-hitsuji.co.jp/>



スウェーデンひつじの詩舎

スペース ペレのあたらしいふく  
〒244-0001 横浜市戸塚区鳥が丘 15-2  
TEL/FAX 045-881-6900,6665  
佐々木のアトリエ TEL/FAX 045-811-6708  
相談窓口/金 担当：寺田裕子045-881-7035